

日本教材学会

The Japanese Association of Teaching and Learning Materials

通信

〒162-0831 東京都新宿区横寺町64-2 エデュイン神楽坂
TEL 03-5946-8717/FAX 03-3267-1047
URL <http://www.kyozaigakkai.jp>

目次

☆巻頭言 日本教材学会会長	澤崎 眞彦	1
☆第36回研究大会案内	樺沢 公一	2
☆事務局だより	事務局	3

〈巻頭言〉第36回研究発表大会・総会開催

にあたって

日本教材学会会長 澤崎 眞彦

今年度の研究発表大会・総会は、2019年の第31回大会以来5年ぶりに会員が参集して開催する大会です。新型コロナウイルスが完全に終息してはませんが、北海道教育大学旭川校の樺沢公一実行委員長をはじめ実行委員会の皆様のご努力により、10月5日、6日の両日に開催することが出来ることとなりました。研究発表大会実行委員会の皆様に感謝を申し上げます。

第36回研究発表大会では、9分科会で35件の自由研究発表、3件の研究プロジェクト発表、さらに「生成AIと教材」をテーマとしたシンポジウムが持たれます。シンポジウムでは、文部省指定・生成AIパイロット校、札幌市立中央小学校の中里彰吾氏の「授業実践への活用の視点から」、会員より東海大学の朝倉徹氏「教育的な視点から」の提言がなされます。引き続いて「生成AIを活用した授業設計」のワークショップ(60分)が準備され、講師として北畠謙太郎氏((株)メディアファイナンス)と山本利一氏(埼玉大学)が担当されます。シンポジウムとそれに結びついたワークショップという新しい試みです。多数

の参加を願っています。

北の大地で一堂に会し、膝つき合せての会員諸氏の研究発表、研究プロジェクト、シンポジウム、ワークショップ等々での活発で熱のこもった議論が、本学会の更なる研究活動の深まりと発展につながることを願っております。実り多い研究発表大会となることを願っています。重ねて第36回研究発表大会実行委員会の皆様に感謝を申し上げます。



Welcome to Asahikawa

日本教材学会 第36回 研究発表大会

と き / 令和6年10月5日(土)～6日(日)
と ころ / 北海道教育大学旭川校



〈特集〉第36回研究発表大会のご案内

実行委員長 樺沢 公一（北海道教育大学旭川校）

日本教材学会は、「第36回研究発表大会」を2024年10月5日（土）、6日（日）の両日、北海道旭川市の北海道教育大学旭川校を会場として、対面で開催いたします。昨年度まで、オンラインでの開催が続いておりましたが、本大会から対面での実施を再開いたします。

さて、「コロナ禍」とほぼ同時に始まった新しい学習指導要領の完全実施、GIGA スクール構想による一人一台端末の導入、個別最適な学び、教育DXなどが推進され、学習者の主体性や学びの深まりなど学習過程が一層重視されることとなり、学びの在り方や教師の在り方が問われるようになりました。これらの新しい改革の本丸は、あくまで教育の質の向上にあり、決して新しいものではありません。教育活動の質を落ち着いて追究する本質的な切り口こそ、「教育内容と学習者との間を媒介するもの」である「教材」だと考えます。

本大会では、昨今加速度的な発展を遂げ、教育現場で無視できない存在となってきた生成AIについて、「生成AIと教材」のテーマでシンポジウムを企画しました。ワークショップ（60分）＋シンポジウム（90分）の2本立てで企画し、ワークショップでは、「生成AIを活用した授業設計」について、さらにシンポジウムでは、「授業実践への活用」、「教材学」の視点から議論を深めていただきます。9分科会35本の自由研究発表、3本の研究プロジェクト発表を含め、多くの皆様のご参加により稔り多い討議が行われ、今後の教材学の深化と本学会の発展につながることを願っております。

◆開催概要

○日程：2024年10月5日（土）～6日（日）

○開催会場：北海道教育大学旭川校

○開催方法：対面のみ

◆大会日程

○10月5日（土）

・9:30～11:30 自由研究発表①（第1～5分科会）

・11:40～12:25 理事会
・13:00～15:45 開会式・シンポジウム
・17:00～18:30 情報交換会

○10月6日（日）

・9:30～11:30 自由研究発表②（第6～9分科会）

・11:40～12:25 総会

・13:00～14:30 研究プロジェクト発表（3会場）

※今大会は、支部総会は実施しません。

◆発表数

今大会の発表数は次の通りです。

- ・自由研究発表…35件
- ・研究プロジェクト…3件
- ・シンポジウム…ワークショップ講師2名
シンポジスト2名

◆シンポジウムの概要（150分）

○コーディネーター

・渡壁誠（北海道教育大学旭川校）

○ワークショップ（60分）

テーマ「生成AIを活用した授業設計」

（説明）LSAI（生成AI）を活用した授業設計体験

講師：北島謙太郎（株式会社メディアファイブ）

講師：山本 利一（埼玉大学教育学）

○シンポジウム（90分）

テーマ：「生成AIと教材」

○シンポジスト

- ・「教材学的な視点から」朝倉 徹（東海大学）
- ・「授業実践への活用の視点から」中里 彰吾
（札幌市立中央小学校：文部科学省指定
生成AIパイロット校）

◆研究プロジェクト発表

- ・社会直観主義道徳理論に基づく新しい道徳教育指導法の開発～「モノへの罪悪感」を手がかりにした人間理解の深化を目指して～
（プロジェクト代表：石川 勝彦）
- ・教材と教科教育の研究～データサイエンスの功罪と、それを踏まえた教材・授業の改善について～
（プロジェクト代表：藤井 大亮）
- ・教科等横断的な学習におけるELSIをテーマとした教材の開発～国語科と理科の教科等横断におけるリテラシーの醸成～
（プロジェクト代表：遠藤 清将）

◆当日申し込み

※事前受付が終了しましたので当日受付にてご参加ください。

大会参加費：

会員 3,000 円、非会員 4,000 円、

学生・北海道の教員の皆様、日図協の皆様は 1,000 円となっております。

※事前受付され、当日ご欠席された場合、返金はできませんので、ご了承ください。

※情報交換会は 5,500 円です。当日参加も可能です。

※学内の大学生協は営業しておりません。会場の付近にはローソンとセブンイレブンがあります。

※ワークショップにご参加の際は、インターネットにつながるデバイスをお持ちください。



北海道教育大学 旭川

事務局だより

◆事務局より

今年度も今多勝代事務局員とともに学会運営を支えて参ります。会員の皆さま、どうぞよろしくお願いたします。

◆新入会員のご紹介

下記「議事報告」に記載しました 2024 年度第 3 回常任理事会まで承認されました、新入会員の皆さまです。ご所属は承認時のものとなります。

氏名	勤務先	専門等
大谷 俊行	Ton-ton	
井上 嘉名芽	東奥義塾 高等学校	情報・生物 (高校)
佐藤 圭佑	南幌町立 南幌中学校	音楽
阿部 直紀	福山大学 福祉健康学部	保健体育
中逸 空	北海道教育大学 札幌校	数学教育学
川田 明彦	川村学園女子 大学	情報処理・ 映像・マン ガ・アニメ
田中 慎二	旭川市立 神居中学校	数学
折田 充	熊本大学文学部	英語
中村 泰輔	東海学園大学 教育学部	理科・ 理科教育
松田 聖子	帝京平成大学	造形表現・ 言語・人間 関係
秋山 和広	早稲田大学 高等学院	理科、高等 学校生物
古田 このみ	奈良教育大学	技術
千葉 玲遠	宮城教育大学 (学生)	技術
菅藤 拓也	聖徳大学教職 大学院 (院生)	保育・幼児 教育
辻 史朗	関東第一高等学 校	理科 (物理)
木下 和彦	宮城教育大学	音楽科教育
永山 香織	開智国際学 教育学部	算数・数学
林 恵	足利短期大学	特別支援教 育
南 紗貴子	関西大学大学院 (院生)	国語
菅原 大	北海道教育大学 附属旭川中学校	数学

◆議事報告

◇2024年第1回常任理事会（Zoomによるオンライン会議）

日程:2024年5月18日（土）

1. 報告事項

(1) 日本教材学会第35回研究発表大会第1次案内の件

(2) 第35回研究発表大会研究発表者募集のお知らせ

(3) 2023年度決算報告の件（2024年度特別会計報告含む）

2. 協議事項

(1) 新規入会会員・退会会員承認の件→連絡違いの1名を保留とし、それ以外は了承された。

(2) 日本教材学会 会費 未納者への対応の件→未納者について会員資格喪失を3年とする案を会則等検討委員会に次の常任理事会までに検討してもらうことになった。

◇2024年第2回常任理事会（Zoomによるオンライン会議）

日程:2024年7月20日（土）

1. 報告事項

(1) 日本教材学会第36回研究発表大会の件（自由研究発表会の申込状況等）

2. 協議事項

(1) 会則9条変更について→承認された。

(2) 大会事前申し込みのオンライン化、当日申し込みの方法について→承認された。

(3) 日本教材学会新規入会・退会会員承認の件→承認された。

(4) その他

・賛助会員とのホームページの連携について、次回の常任理事会で細川事務局長が提案することとなった。

・今回北海道での大会ということで、現段階で確定していることを2次案内より先にホームページに掲載することになった。

◇2024年第3回常任理事会（Zoomによるオンライン会議）

日程:2024年9月7日（土）

2. 報告事項

(1) 日本教材学会第36回研究発表大会の件（二次案内について）

3. 協議事項

(1) 会則変更について→会則等変更委員会、研究倫理委員会に次回の理事会までに案の作成を依頼することとなった。

(2) 賛助会員とのホームページ連携について→細川事務局長が具体的なページ案を作成することとなった。

(3) 日本教材学会新規入会・退会会員承認の件→承認された。

◆編集後記

第36回研究発表大会は北海道教育大学を会場とし、対面での開催となりました。コロナ禍を機に教育は大きく変化しました。平成29年に告示された学習指導要領では、改訂の理由として、AIの飛躍的な進化が挙げられていましたが、教育の現場でもAIの活用が試みられるようになり、ワークショップとシンポジウムで「生成AIと教材」が取り上げられることになっています。北海教育大学旭川校についてHPで調べてみますと、「**教學半：教えることは学ぶことであり、教えることと学ぶことは一つである**」を教訓としていくことがわかりました。今回の研究発表大会もこの教訓を胸に有意義な大会となることを願っています。（三小田 美穂子）

